

議長記者会見録

日 時 令和4年7月1日（金） 15時から15時19分

場 所 議会棟3階 議会運営委員会室

○議会事務局

それでは時間になりましたので、これより議長記者会見を始めさせていただきます。

本日の進行でございますけれども、まず坂本前議長から退任のご挨拶がございます。

続きまして、新しく就任しました、中島議長から就任のご挨拶がございます。

その後、幹事社による質問、各社による質問という流れで、会見時間は30分程度を目安にお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

まず初めに坂本前議長から退任のごあいさつがございます。

○坂本前議長

このたび、県議会議長を退任しました坂本智徳でございます。

退任にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

令和3年7月に、県議会のご推挙をいただき、議長の要職に就任させていただいて以来、1年にわたり、議長として円滑な議会の運営に万全を期すとともに、皆様のご協力をいただきながら、県政の発展にひたすら励んでまいりました。

この1年を振り返りますと、議長に就任、7月13日でございますが、就任してから間もない8月27日には、新型コロナの「まん延防止等重点措置」が本県に適用されるなど、度重なる感染拡大を受け、令和3年9月定例会では、本会議場及び委員会室では、不織布マスクを着用、委員会の議案外は、事前通告制とし、1部局審査の委員1人当たり持ち時間は20分以内、1回限りとする感染防止対策をとることとし、その後も感染状況に応じた対応に努めてまいりました。

また、議会のICT化の取り組みとして、本定例会からペーパーレス化の試行を実施しました。

また、各地域の課題を解決していくため、市町などからの要望につきましては、可能な限り、私自身が対応し、首長や議長から直接実情をお聞きするとともに、現場も視察してきたところでございます。

ご承知のとおり、私は離島出身の議員でもあり、特に道路などの社会基盤の整備は進めていかなければならないと考えておりました。

市町からの要望に応えるべく、理事者と一体となって、国の予算確保に努めてきたところであります。

本県は、人口減少、九州新幹線西九州ルート of 整備促進、特定複合観光施設 I R の実現、離島及び過疎地域の振興など、様々な課題を抱えております。

5月11日には、九州8県の議長・副議長が本県に一堂に会しまして、九州各県議会議長会議が開催され、九州の重要な諸問題について、「九州はひとつ」の理念のもと、熱心な議論を重ねてきたところであり、私は座長として、その円滑な運営をはかってきたところでございます。

また、「九州・長崎 I R」につきましては、去る 4 月 19 日から 20 日に開催された臨時会において、区域認定申請に向けた区域整備計画案について議決したところであり、今後、区域認定を受け、本県はもとより九州地域のさらなる活性化に繋がることを、大いに期待しておるところであります。

加えまして、九州新幹線西九州ルートの整備促進につきましては、本県の重要課題であり、就任当初に佐賀県議会議長と意見交換をし、今年 5 月初旬には佐賀県を訪問し、また 5 月 11 日に本県で開催された九州各県議会議長会議の場でも佐賀県議会議長と意見交換をいたしました。

今後引き続き、新議長をはじめ、長崎県議会が、理事者と連携しながら、必要な対応を図っていただきたいとこのように思っております。

これまで議長として、議会の活性化と県政の発展や課題の解消のため皆様のご協力とご支援をいただきながら、微力ながらも力を尽くしてまいったと振り返っているところであります。

今後は、議長としての経験を活かしながら、引き続き一議員として、県政の発展と県議会の充実に向けて、尽力してまいる所存であります。

中島議長には、県議会の円滑な運営とさらなる活性化を託しますとともに、県政の諸課題の解決にご尽力いただきますようお願いいたします。簡単ではございますが議長退任のご挨拶とさせていただきます。

誠に、ありがとうございました。

○議会事務局

それでは続きまして、新しく議長に就任しました中島議長からご挨拶があります。

○中島議長

このたび、多くの議員のご推挙をいただき、長崎県議会第 68 代議長に選出いただきました中島 廣義 でございます。

議長職という、大役への就任にあたりましては、誠に身に余る光栄であり、その使命と職責の重さを痛感をいたしているところでございます。

はじめに、現在、全世界で猛威を振るっております新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、治療などに尽力されております、医療従事者をはじめとする関係者の皆様に感謝を申し上げます。

県議会におきましても、感染予防・拡大防止に努めるとともに、重大な影響を受けた産業を支援し、本県における社会経済活動の活性化に全力で取り組んでまいる所存です。

また、本県は、人口減少、九州新幹線西九州ルートの整備促進、特定複合観光施設 I R の実現、石木ダム、離島及び過疎地域の振興など、多くの課題を抱えております。

これら山積する諸課題に対し、県民の皆様の県議会に対する願いは大きなものがあり、議会が果たさなければならぬ責任は、今後、益々大きくなっていくものと考えております。

長年の課題であります九州新幹線西九州ルートの整備促進については、本県議会と佐賀県議会との連携が重要であり、それ以外にも「I R 効果の九州地域への波及」、「西九州自

動車道の建設促進」、「ポスト コロナを見据えた両県経済活性化」など、本県と佐賀県には共通する課題があることから、それぞれ連携や議論を深めていく必要があると考えております。

まずは、佐賀県議会への就任のご挨拶からとはなりますが、今後も議会同士の交流の機会の実現に向けて、協議してまいりたいと考えております。

また、石木ダムにつきましては、県議会では、これまでに4回、石木ダム建設推進に関する意見書等の決議を行っており、石木ダムは、川棚川の洪水対策、佐世保市の安定的な水源の確保のために必要不可欠であると認識しているところであります。

知事は、事業を推進するにあたって、反対住民の方々との関係を構築することが大切であり、今後もお話をお聞きする機会をいただきながら、事業へのご理解とご協力をいただけるよう取り組んでいくと表明されていることから、引き続き、行政の動きを注視してまいりたいと考えております。

今後、議会として特に取組んでまいりたいことの1つは県議会のデジタル化でございます。

これまでも、委員会のオンラインでの実施や本会議における電子表決の導入を行ってまいりましたが、この6月定例会からタブレット端末等を活用し、電子化した議会資料の配付、閲覧を段階的に試行実施しております。

9月定例会からは常任委員会等の会議資料も電子化、11月定例会から紙資料を段階的に配付しないこととしており、令和5年2月定例会は電子化した議会資料のみとなる予定であります。

このほか、昨年3月に「長崎県議会と長崎県立大学との包括連携に関する協定」を締結いたしました。今後はこの協定に基づいて、学生の議会事務局でのインターンシップを通じた人材育成や議員による県立大学での講演、大学教授による「議員研修会」や「議員と学生との交流」についても、これから大学側と協議の上、実施を検討してまいりたいと考えております。

このような様々な取組みにつきまして、今後とも各議員をはじめとした皆様方のご協力を賜りながら、議会が一丸となって課題解決に取り組む、二元代表制の一翼を担う県議会がその役割と責務を果たすことが重要であります。

微力ではありますが、これまで坂本前議長が行って来た取組みを継続しながら、これまで培った経験を生かし、公正かつ円滑な議会運営に精一杯努めてまいり所存でありますので、皆様のなご一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。簡単ではございますが、議長就任のごあいさつとさせていただきます。

今後ともよろしくお願いいたします。

○議会事務局

それではまず、幹事社の方から質問をお願いしたいと思いますけれども、発言される際は会社名とお名前をお願いいたします。

○共同通信社

幹事社の共同通信社です。

新しく議長に就任されました中島議長にお尋ねいたします。

議長に選出されて、今後の県民の皆様に注目していただきたい、理解をしていただきたいというものがあったら教えてください。

○中島議長

まず、人口減少、九州新幹線西九州ルート of 整備促進、特定複合観光施設 I R の実現、石木ダム、いろいろな懸案事項がございます。

前坂本議長が今まで行ってこられた取組みを継続しながら、微力ではありますが、これまで培った経験を生かして、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりたいと考えております。

特に、長年の懸案であります九州新幹線のフル規格での整備促進については、本県議会と佐賀県議会の連携が必要であり、議論を深めていく必要があると考えております。

○共同通信社

ありがとうございます。

もう1点ですが、西九州新幹線の整備促進につきまして、佐賀県議会との意見交換を進めていく必要があるとのことでしたが、現時点での意見交換の日程等が決まっているものがあるのでしょうか。

○中島議長

就任したばかりですので、まだ、日程等は決まっていませんけれども、これから、佐賀県の議長さんとお会いさせていただきたいと考えております。

○共同通信社

具体的には、どのような話をしたいと考えていますか。

○中島議長

全国の高速交通網に繋ぐにはフル規格でなければ新幹線の意味がない訳ですので、フル規格での整備でのお話をしたい。

○議会事務局

それでは、各社の方から質問がありましたらお願いをいたします。

長崎新聞社さん。

○長崎新聞社

中島議長にお聴きしたいのですけれども、さきほど、石木ダムに関してですが注視していきたいとのことでしたが、石木ダムの建設推進について、議会としてどのように取り組んでいきたいと考えているのでしょうか。

○中島議長

議会としては、先ほども申しましたけれども、過去に4回決議等をしているところであり、それと、私も石木ダム建設促進の幹事長をしておりますし、それと中村知事の時代から、地元で活動してまいりました。石木ダムの反対の方たちともお会いして、知事と協議をしてくださいと言ってまいりました。

結局、最終的には、白紙にもどしていただきたいという、知事とお会いする条件があったのですが、今回、中村知事から大石知事になり、大石知事が、住民の皆さんとお会いして、お話を聞きながら進めていきたいというお考えですので、私としては、知事のそういう姿勢を、まずは注視をしていきたいと考えています。

議会としては、早期に石木ダムが完成することを願っております。

○長崎新聞社

いま、大石知事がコミュニケーションをとられている段階ですが、そういった姿勢についてはどのように評価されていますでしょうか。

○中島議長

まず地元住民の方が、知事と協議をしたいといわれており、知事が前向きに住民のご意見をお聞きするというのは、いいことだと思っております。

○議会事務局

他にありませんでしょうか。

その他ないようでしたらこれで終わらせていただきます。

どうもありがとうございました。

※ 発言内容については、わかりやすいように一部変更している部分があります